

◎今週の御言葉「信仰の結果であるたましいの救い」（申命記30章11節～15節、ペテロの手紙第一1章3～12節）

「見よ。私は、確かにきょう、あなたの前にいのちと幸い、死とわざわいを置く。」（30:15）」「あなたがたはイエス・キリストを見たことはないけれども愛しており、いま見てはいないけれども信じており、ことばに尽くすことのできない、栄えに満ちた喜びにおどっています。これは、信仰の結果である、たましいの救いを得ているからです。」（1:8～9）

◎申命記30章15～20節は「いのちと死の選択」が主題です。モーセはここで「いのちと死」「祝福とのろい」の道を示し、「いのちと祝福」を選ぶように勧めているのです（15）。「見よ。私は、きょう、あなたがたの前に、祝福とのろいを置く」とも告げ、「祝福を得る」のは「あなたの神、主を愛し、主の道を歩み、その命令とおきてと定めを守ること」にあり、「あなたがたは生き、その数は増え、主があながたの先祖たちに誓われた地を所有することができます」のです（16, 8:1）。

◎ペテロの手紙第一1章3～12節の主題は「試練とたましいの救い」です。ペテロはこの手紙を「バビロン（ローマ）」（5:13）で書いたようですが、迫害を受けている読者にこの手紙を書き送った。その目的は、①当時、キリスト者に対して悪意からの非難や攻撃が加えられていたので、キリスト者を励ますため、②教会が異教徒の生き方に巻き込まれる傾向もあり、長老たちの間に利得を求めたり権力を振るう者たちもいたので、これらの誤りを正すため、であったのです。ここで先ず神様をさんびしております。神様が「あわれみ」のゆえに、イエス・キリストを死者の中からよみがえらせて下さったことによって、私たちを「新しく生まれさせ」て下さったのです。その結果、神様が与えて下さった豊かな恵みと祝福を確かめましょう。①「生ける望みを持つようにして下さいました。」「朽ちることも汚れることも、消えて行くこともない資産を受け継ぐようにして下さいました。」②「信仰によって神に守られており、…救いをいただくのです。」③様々な試練の中で悲しみまなければならないけれども「大いに喜んでいる。」「信仰の試練は、イエス・キリストの現れの時に称賛と光栄と栄誉になることがわかります。」とある通りです。④「イエス・キリストを愛しており、信じており、ことばにつくすことのできない、栄えに満ちた喜びにおどっています。」ペテロはイエス・キリストを見ていたが、見ていない人たちが信じて同じ恵みと祝福に与っていることに感嘆しているのです。かつて旧約の預言者たちや多くの人々が探し求めていた恵みに私たちはあづかっているのです。感謝！